くみあいNEWS

第　１５４０５　号
2025年12月26日(金)
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)　543590
堺地区　652990／海南地区　545555

日本製鉄労連

「AP26春季取り組み討論集会」に参加しました

日本製鉄労連は、12月３日(水)に「AP26春季取り組み討論集会」を開催し、和歌山労組から執行部２名、支部長２名が参加しました。本討論集会は、AP26春季取り組みに向けて、組合員が抱える労働条件や福利厚生に関する課題を共有し、各単組が意見交換を行う場として開催され、参加した各単組の代表者から積極的な発言があり活発な議論が交わされました。和歌山労組の参加者からも、各支部の皆様より寄せられたご意見を代表して発言しました。

今後、日本製鉄労連は、各単組から寄せられた意見を踏まえ、「AP26春季取り組み方針(案)」を示す予定です。和歌山労組は、AP26春季取り組みの盛り上げに向け、今後もさまざまな活動を展開していきますので、各支部におかれましても、「総合力世界 No.1の鉄鋼メーカー」にふさわしい労働条件の確立に向け、引き続き盛り上げ活動へのご協力をお願いいたします。







討論集会での和歌山労組の発言内容（一部抜粋）

◆経済・社会の情勢、日本製鉄およびセグメント各社の経営状況など、AP26春季取り組みを取り巻く状況についてどのように認識しているか。また、自製鉄所・地区の状況についてどのように認識しているか。

○経済・社会の情勢については、米国の関税政策によって輸出産業は打撃を受けているものの、近年では各業界で賃金の改善が進み、都道府県ごとの最低賃金も引き上げられるなど、所得向上が見られ、全体としては緩やかに回復していると認識している。しかしながら、日本製鉄を取り巻く環境は、中国による過剰生産や輸出拡大、さらには米国の関税措置が重なり、未曾有の危機的な状況が続いているなか、一昨年から続く大幅な賃金改善による固定費増加、設備トラブルによるコスト悪化など、複合的要因で一層厳しい経営環境に直面していると認識している。

一方、インドや米国をはじめとする海外市場を的確に捉え、収益を確保することは持続的成長に欠かせない取り組みである。海外展開の強化は今後の重要な柱であり、企業の成長戦略において中心的な役割を担うものと認識している。

また、関西製鉄所（和歌山地区・大阪地区堺）は高付加価値品に特化した生産拠点であり、鋼管事業では旺盛な受注により繁忙感が増している一方、形鋼事業においては建設・建築需要の低迷や人手不足の影響を受け、受注環境は厳しい状況にある。さらに、上工程から下工程にかけて設備トラブルが増加傾向にあることから、組合員は「安全で安定した操業」を最も重要な課題として認識している。

◆基本賃金への財源投入を最優先に取り組むとする考え方はどうか。また、基本賃金への財源投入のあり方（特定層への配分等）について留意しておくべき点はないか。

○日本国内では人材獲得競争が一段と激化しており、他産業においては初任給の引き上げや制度の見直しが進むなど、優秀な人材確保に向けた取り組みが加速している。こうした状況を踏まえると、金属産業トップクラスの賃金水準を維持し、他産業に劣らない制度を整備することが不可欠である。それこそが優秀な人材の確保･定着につながり､さらには組合員の活力向上にも結び付くと認識している。また、基本賃金への優先的な財源投入は最重要課題であり、この取り組みに賛同する。特に、若手社員の離職率が高まり人材確保が難しい現状を踏まえると、若手に重点的に財源を配分することで定着を促し、ひいては現場力の強化や将来の技術形成につながると考える。あわせて、職場の中核を担う中間層ならびにベテラン層のモチベーションを十分に考慮した要求内容にすることが肝要であると考える。

さらに、三交替勤務は深夜帯を含む不規則な勤務による生活・健康面での負担が大きい一方、連続操業を支える重要な業務である。このため、交替勤務手当などの制度を見直し、敬遠されがちな三交替勤務に魅力やプレミアム感を持たせることで、定着率の向上を図ることが重要である。

日本製鉄労連が「青年女性研修会」を開催

日本製鉄労連は 11月28日(金)～ 29日(土)にかけて「青年女性研修」を開催し、和歌山労組の青年女性対策部から３名が参加しました。本研修は、青年女性委員の労働運動の担い手としてのスキル向上と、単組を越えたネットワークづくりを目的として実施され、全国から多くの若手役員が集まり、活発な議論と交流が行われました。

初日はビジョンセンター品川にて研修が行われ、日本製鉄労連・小寺書記長より「青年女性層は組合員約３万人のうち約３割を占め、今後の会社を牽引していく存在です。仲間づくりの場として有意義な一日にしてください」との挨拶がありました。続いて、「労働政策ビジョン」に関する講義や、「青年女性活動のさらなる活性化」をテーマとしたグループワークが実施され、各単組の独自イベント紹介や、活動活性化に向けた課題・取り組みについて意見交換が行われました。

２日目は国会見学を実施し、普段は見ることのできない議事堂内部を見学することで、国政の現場に触れ、社会や政治への理解を深める貴重な機会となりました。

今回の参加者は、この研修を通じて知識・スキルの向上だけでなく、他単組とのつながりの重要性を実感することができました。この経験を今後の活動に活かし、さらなる活性化を図ってまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。







参加者募集中!!

【青年女性部企画】日本製鉄堺ブレイザーズ 応援ツアー開催のお知らせ

青年女性部では、昨年に引き続き会社との共催により、「日本製鉄堺ブレイザーズ」応援ツアーを実施します。会場は「大浜だいしんアリーナ」で、対戦カードは「堺ブレイザーズ VS 大阪ブルテオン」になります。熱い声援で日本製鉄堺ブレイザーズの勝利の後押しをしましょう!!

当日ご参加いただいた皆さまには、フェイスタオルをプレゼントします。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

参加人数 最大100名

OSAKA・BLAZERS・SAKAI Blazers ブレイザーズ SINCE 1939

VS

2026年2月7日(土) 16:05～ 試合開始

OSAKA BLUTEON

参加費 無料

上記QRコードより詳細の確認と申し込みをお願いします。

参加申込〆切 1月9日(金) AM

家族も参加OK

組合員投稿コーナー

投稿

ご安全に!

ステンレス製鋼工場の 森下 哲也です。

テーマ「私の今年一番の思い出」



私の今年一番の思い出は、夏休みに家族でエスコンフィールドへ行ったことです。私は阪神ファンなのですが、小学生の息子は日ハムの大ファンです。北海道旅行に行くならエスコンフィールドに絶対に行きたいということで、日ハムの試合を観戦してきました。息子は、少年野球でキャッチャーをしていることもあり伏見寅威選手のファンです。当日、試合開始前にグッズショップで伏見選手のユニフォームを購入し着用して応援しました。試合も日ハムが勝利し最高の１日になりました。しかし、せっかくユニフォームを購入したのに伏見選手の阪神へのトレードが発表されました…。このユニフォームは一体どうすればいいのでしょうか(笑)



清末議員相談窓口　1月スケジュール

清末議員相談窓口の、１月のスケジュールが決定しました。

1月　7日（水）　17：00 ～ 18：00　組合会館
1月 14 日（水）　17：00 ～ 18：00　組合海南事務所
1月 28 日（水）　17：00 ～ 18：00　組合会館

２月以降の日程につきましては、組合ニュースで改めて告知します

労働組合会館年末年始休館のお知らせ

年末年始の休館日を以下の通りとさせて頂きます。

組合会館・堺地区事務所・海南地区事務所

休館日：12月27日（土）～１月４日（日）まで

新年は１月５日（月）から開館いたします。
皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、
何卒ご了承の程よろしくお願いします。

今回の発行を持って2025年最後の組合ニュースとなります。

この１年間、ご愛読いただきありがとうございました。

2026年におきましても、皆様にご愛読いただけるよう、工夫を凝らして参りますので、本年同様によろしくお願いします。